関心高まる！ 側条施肥田植え

新島ほ場で行われた側条施肥田植実演模様

町農業振興会稲作部会では、4月22日、牛熊地先ほ場で水稲側条施肥田植栽培の実演を行いました。また、同30日には千葉県と県農業機械化技術振興会の主催による実演会が、新島地先ほ場で行われ、多くの農家の関心を得ました。

この側条施肥田植は、田植機に施肥装置をとりつけて、田植と施肥を同時作業する栽培方法で、昭和50年頃から全国各地で普及されましたが、技術上の問題などで一時中断されたかたちとなっていました。しかし、最近になって機械の改良が一段と進み、各地で好成績が報告されここ数年再度関心が高まってきました。

特色

必要生育量の早期確保が可能

表層全面施肥に対して、もと肥量を20～30％ほど減肥しても土中3～5㎝の条施肥であるため、初期の生育が旺盛となるのが特徴で、低温気候の冷水かんがい田や生育障害田などの条件下でも有効です。

施肥作業が省力化

施肥田植機の植え付け作業精度は、従来の田植機と同じです。作業能率は、ほ場条件によっても異なりますが、通常の田植作業に肥料補給時間の5分位を加えた程度です。そのため、もと肥の手作業散布に比べると省力化ができます。

肥料の溶出防止と効率的利用

肥料を土中に施肥するため、肥料成分の溶出や脱窒が抑えられますので、田面水のアンモニア態（たい）窒素及び燐酸濃度が低くなるので、代かき後の排水による水質汚濁防止にも有効です。

施肥構造

千葉県では、この側条施肥田植技術導入資金（償還期間5年以内）を設けてありますので、詳しくは、松尾普及所（☎0479986④4121）にお問い合わせください。

お知らせコーナー

6月の各相談室の開設日は、次のとおりです。お気軽にご利用ください。

健康相談（第2・4火曜）

6月10日　上堺会館
6月24日　文化会館
（午後1時半～3時）
※40歳以上の方は、健康手帳をご持参ください。

教育相談（毎火曜）

○とき
6月3・10・17・24日
○ところ　中央公民館　談話室
（午後1時半～4時半）
※当日は電話でも相談に応じます。
(2)1111（内線69）

行政相談（第4木曜）

○とき　6月26日
○ところ　中央公民館
（午前9時～11時半）

人権相談（第1・3火曜）

○とき　6月3・17日
○ところ　中央公民館
（午後1時～4時）

心配ごと相談（毎火曜）

○とき
6月3・10・17・24日
○ところ　中央公民館
（午後1時～4時）

赤十字に協力を

赤十字は、国際的な救援活動をはじめ、国内の災害救護、献血の普及など、幅広い活動を続けています。

これらの事業に必要なお金は、赤十字社員に加入していただいた皆さんの社費（年額五百円）でまかなわれます。

赤十字社員（会員）に加入してください。

献血の実施

■日時　6月26日(木)
午前9時半～12時半
■場所　横芝町役場
多数の方の献血をお待ちしております。